

# 琉球大学学術リポジトリ

## 沖縄関係 外紙報道（在アジア、欧州等公館関係）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43809">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43809</a>

香  
港  
總

至情したOK

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

香港第 208 号(報)

昭和 44 年 2 月 5 日

公信写配付済

外務大臣殿

在 香 港  
岡田 総領事

沖縄情勢に関する中米系紙  
の解説 (報告)

(要旨) 米国の沖縄高層幹部は  
戦略の専門家を新設したと  
は、米国の在韓政界と密に合作し、沖  
縄核基地をよりよく利用し、アジア各  
国に核威嚇を行おうとしていることとを説  
明している。沖縄島には、特にB52の



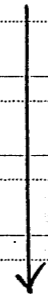
GA-4

外務省

乗務が発生しながら、米軍の沖縄撤退を  
迫り、在韓政界の米国防策に反対し、反  
米の高潮を招いている。

(本文) 2月5日付当地中米系紙本  
公報は、「沖縄—米軍侵略基地—  
と題する解説記事が四面入りで報  
じられている。在韓政界各系に  
記事の要旨を伝えたばかり、本情勢の  
上、即報告申し上げる。

部



GA-4

外務省

最近沖縄に盛木村反米デモが起り、  
 沖縄は米国のB52核戦略爆撃機の永久的  
 基地に予定と、沖縄に米軍が大量の水爆を  
 貯蔵予定と指摘し、米国の核潜水艦  
 の沖縄撤退、沖縄の日本への返還を要求  
 している。

沖縄は、日本の降伏後、米軍に占領され、  
 琉球政府を設け、沖縄自治を支配している。最  
 近新設した<sup>(中国の軍事基地)</sup>ラングラー島中核の核戦略  
 の要所である。

最近米軍は、沖縄人民の領土返還要求  
 米国の沖縄占領反対の本界反米運動を緩  
 和するが、<sup>民主選挙</sup>という名目で、  
 沖縄人に自治権を帯びさせようとする。

米軍は、沖縄に海、陸、空軍の基地、

ミサイル基地、~~核~~核戦争訓練基地、特務訓練  
 学校等を設けている。最大の空軍基地嘉手納  
 には、極東に最大の滑走路二本(長さ各11,0  
 00m)があり、どのような種類の軍用機も発着い  
 きる。ここは通常の米空軍第313師団が駐  
 屯し、F105戦闘爆撃機、U2ヒコ SR71  
 戦略偵察機等を配備している。

最近の琉球新報によれば、嘉手納基地  
 にはこの~~核~~核弾頭の長さから、水爆及びミサイル  
 弾頭の<sup>弾</sup>貯蔵庫6つを建設された。こ  
 れに新しい建設された11の<sup>弾</sup>貯蔵庫  
 は、核潜水艦の乗組員の核<sup>弾</sup>頭を專門に  
 貯蔵している。

沖縄自治は、米国の極東侵略の海  
 陸空軍の核<sup>弾</sup>頭基地に存在していること

いなり、米国の国防雜誌は、東南アジアの情勢が急化するに、名勲、平済を考慮するに、当然に神領の米軍の入り、と述べるなり。ワイトム侵略戦争の時期に、神領は最大の、最も直接的な軍事、兵站、糧食、兵員輸送等、ワイトム侵略戦争に参入する。

米國は、しばしば神領の戦略的地位を強調し、神領の重要を認め、新造のラニート自身は、國防部の核戦略専門家であり、それが神領の~~重要~~<sup>軍事</sup>に参入するに、米國は、蘇聯と対峙する一歩を進める「合作」し、神領という核基地をよりよく利用し、アジア各洲の核威嚇を行なうとしようことを説明し

いなり。

米國は神領を重要にし、全島の国民の生命財産を脅かす脅威を蒙るなり。特に昨年11月B52が事故を起し、島民は、米軍の核基地が最大の脅威であると認識した。神領島民は、各種の行動をとるに、米軍の神領撤退を迫り、~~蘇聯~~<sup>米</sup>蘇聯の共同攻撃を防止し、大規模な反米の高潮が神領全島の蔓延し、なり。

別紙添付

# 沖繩——美軍侵略基地

最近沖繩全島正在掀起一個巨大的反美示威，抗議美國「B五十二」核戰機在沖繩以沖繩為永久基地，抗議美軍將大量核彈儲藏於沖繩，要求美國核彈從沖繩撤出，將沖繩交還給日本。沖繩是琉球羣島中的主島。它和附近的宮古羣島、八重山羣島、大東列島等大小六十多個島嶼一起統稱為沖繩島。

沖繩島面積為二千三百八十八平方公里，其中沖繩主島最大，佔總面積百分之五十二。人口一百萬多一，首府為那霸。

日本投降後，美軍即佔領了沖繩，設立琉球政府，委任高橋良英為首任琉球政府主席。最近美國新任駐沖繩高級專員藍珀德中將，是個極端侵略專家。

為了緩和沖繩人民要求歸還領土，強烈反對美國佔領沖繩的怒潮，最近美國玩弄「七二」等。

民主選舉」的把戲，讓一個沖繩人出來擔任沖繩民政府主席。

美軍在沖繩島上的海、陸、空軍和海軍陸戰隊基地共有一百七十七處。此外還有數十處核彈基地、彈藥庫、特種戰爭訓練基地、特種訓練學校等，總面積約一百二十平方公里。佔沖繩全島面積百分之九。

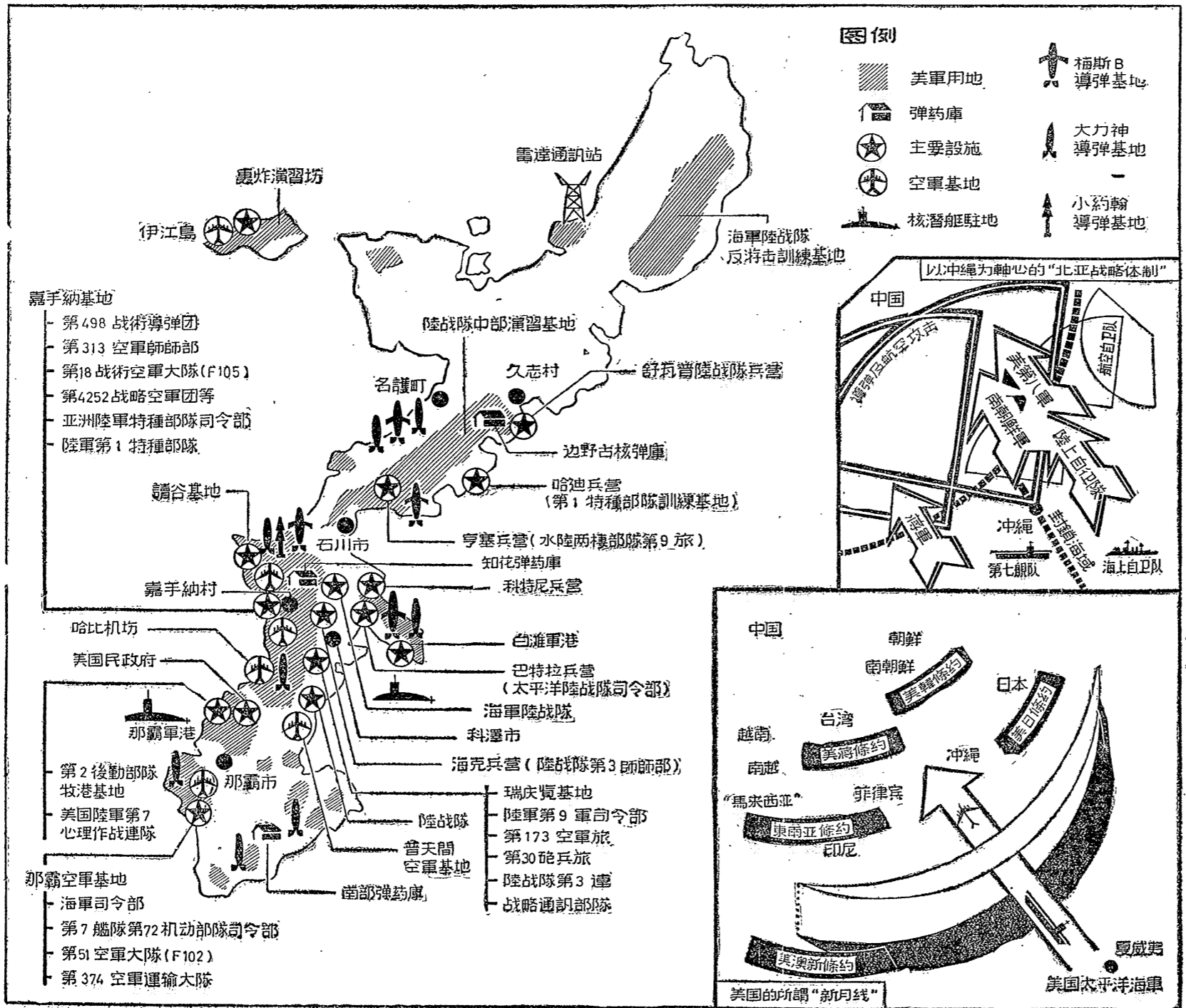
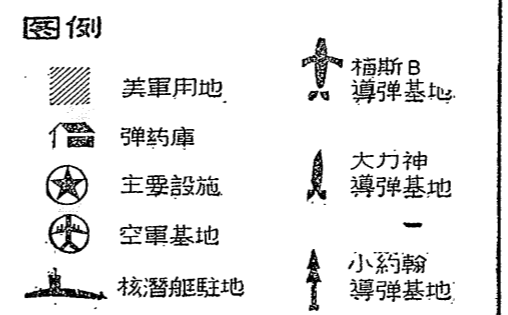
美軍在沖繩的海軍陸戰隊、陸軍、空軍、海軍共約六萬五千人，連同軍眷約十二萬人。最大的空軍基地是嘉手納，這裏有遠東最長的跑道兩條（長度各為一萬一千公尺），可以起降任何類型的軍用飛機。經常駐在嘉手納基地有美國空軍第三一三師，主要飛機「F105」、「F4U」、「F4C」、「RE4C」、「KC135」、「F4U」以及代價「U2」的戰略偵察機「SR171」等。

最近沖繩「琉球新報」揭露，在嘉手納基地附近的知花彈藥庫旁邊的多幸山，興建了六處地下庫房，新建了十一處彈藥倉庫，專門儲藏核彈的核魚雷彈頭「薩布洛」。

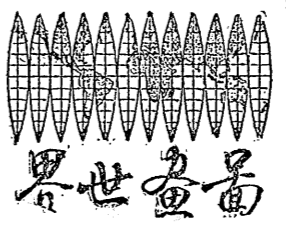
可以說整個沖繩已成為美國侵略遠東的海、陸、空軍等核子攻擊基地。美國國防雜誌說：「沖繩是美國在遠東的核子攻擊基地，是遠東最大的、最直接的軍事、後勤、轟炸、運兵和軍用支援的侵略基地。」

美國一再強調沖繩的戰略地位，不允許還沖繩。新任專員藍珀德本人就是國防部核戰專家，他的接任沖繩高級專員，說明美國將和核戰專家進一步「合作」，更好地利用沖繩這處核基地，對亞洲各國實行核威懾。

但是美國將沖繩島要變化之後，全島居民生命財產受到嚴重威脅。特別是去年十一月連降兩次「B五十二」核戰機和進出跑道事件，造成了一場巨大的災禍，更使島民覺悟到：美軍的核基地才是他們最大的威脅。沖繩島民現在起來用各種行動，迫使美軍退出沖繩，反對美軍政府的賣國政策。一個大規模的反美高潮正在沖繩全島蔓延中。



二月五日付 平白流來信 二〇八〇〇 別添



文姚：文全陳：圖

中国課長

アメリカ局長

参事官

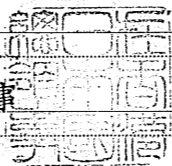
北米第一課長

香港第 225 号

昭和 44 年 2 月 8 日

外務大臣殿

在 香 港  
岡田総領事



沖繩の反米デモに關する中米

系紙論評 (報告)

(要旨) 沖繩<sup>の</sup>人民は、米デモを行なへり  
B52の撤去を要求した。これを支持す  
るが、東京の労働者、学生は米國大使  
館にデモを行は。日本の革命的人民  
は闘争を堅持し勝利をあげんことを、  
尤も、米連東盟の紅旗を掲げん

要処理
首席事務官
海外調査
漁業
航空
科学協力
連絡調整
調査
カナダ
局庶務



GA-4

外務省

2

いりおとせぬ日。(香港商報) 東京の  
一人のデモは、沖繩<sup>の</sup>人民に支持を著明  
し、B52の撤去を要求した。日本の学  
生は敢然と闘争をやりとせんとし、  
1970年の闘争を本年に繰り上げよう  
と決心しぬ。沖繩の闘争は1970  
年の闘争の一部にぬ。(新報)

(本件) 2月5日付香港中米系紙香  
港商報及び新報は、本件に關  
し、要旨下記のとおり論評しぬ  
こと、外務省報告に、切符添  
付、御報告申し上げる。

記

GA-4

外務省

(1) 2月5日付香港南報社説

沖縄島の人民は、昨日米軍の嘉手納空軍基地の周囲に反米の大デモを行なった。米軍基地の極東最大の米軍基地からB52爆撃機を撤去するよう要求した。怒ったデモの学生はさらに基地に突入した。

米軍のグアム作戦を強化するがために、ガム島に駐在しているB52の一部を沖縄に移駐し、沖縄を米軍のアジアの軍需供給の主要な基地とすることを周知のとおりである。このことは、アジアの平和を脅かすだけである。日本の安全と危険を及ぼす。

沖縄島の人民の上意の行動を支持するために、東京の労働者、学生は、昨日

米軍大使館の外にデモを行ない、一部の学生は勇断に米軍大使館の内に入ると、屋上の旗竿に「米軍主義打倒」、「日米安保条約撤廃」等のスローガンを掲げた。他、藤友勤路社などのデモ隊に弾圧された。また、官憲修正主義グループなどのデモ隊に弾圧された。日本の革命的労働者、愛国学生は反米感情はますます激しくなり、闘争の意志はますます高まっている。

日本の革命的人民は、存続闘争を堅持し、11の勝利をあげようといふことである。明らかには、アメリカの反米東思想の狂気を打ち倒すことである。

最近の西側通信社の報道の中には、(翻訳) 米国の学生、アジアの労働者などの反米



国の黒人の好む。造反闘争に最も積極的  
 存在のは、オバマ「親父米東巡」と呼ばれ  
 日米の愛子。これは偶然では無い。米東  
 東思想は、オバマに多世界に傳播し、  
 造反の巨木が動かされて行くのである。

(2) 2月5日付夕刊紙新晚報掲載

フィリピンの神像を5人のテロリストが米  
 国の基地に突撃した。3/10/10の1947  
 に2千人のストライク、テロリストが、待  
 遇改善を求めた。

神像は1つの島である。1つの島に  
 5人のテロリストがテロリストである。神像の  
 テロリストは昨日のことである。昨日に東  
 京に1人のテロリストが、神像の人

文に支持を表明した。このテロリスト  
 学生は米国外務省に突入し、屋上の上へ  
 1人旗を上げ、<sup>(掲)</sup>米東のB52  
 の神像を要求した。B52の神像  
 退け、神像が日本本土に多日米の反  
 米テロの目標である。このB52  
 はフィリピン戦争に突入してフィリ  
 ピンを爆撃したものである。

東京の米国外務省は数年来日本  
 人の反米テロの被害を受けて、今  
 回のテロは、この米東のテロリストの  
 である。日本の学生は、<sup>(このテロ)</sup>この  
 テロを要求している。これは、<sup>(このテロ)</sup>テロ  
 東京大学において爆撃と戦った日  
 不眠戦の連続である。日本の学

生は、次々に懸然と闘争するようになり、  
 いち、おかしは、1970年の闘争を繰り上  
 げ、本年に際し、<sup>（4）</sup>おかしに決心し、  
 1970年は、米日安保条約の期限が  
 終り、これを延長するかどうかの年であ  
 る。日本人は、おかしに懸いおかしな  
 といふ米国の軍事的な態度を振りかざし  
 と決心し、<sup>（5）</sup>神強の闘争は、やはり  
 1970年の闘争の一部である。

日本におい、今年の人々の闘争は  
 緊張感がある。イタリヤ、西欧、  
 北米も同様である。

別紙添付

44. 2. 8 香港來信 225 号  
別添

69. 2. 5  

**沖繩一島五萬人示威反美**

在歐洲的沖繩，有五萬人示威，抗議美國在歐洲的意大利，有兩千萬人罷工、示威，爭取改善待遇。沖繩只是一個島，一島而有五萬人示威，

東京的美領事館多少年來就是日本人民示威的目標，但這一次卻是空前的一次，日本學生又再一次表現了他們的勇敢。前不久，他們在東京去學，以七百之衆大職成爲警察，堅持了幾天兩夜。那是守，這次衝突，日本學生越來越顯得敢於鬥爭，終於鬥爭了。

他們決心把一九七〇年的鬥爭提前在今年展開。一九七〇，是美日「安全條約」期滿是，否延長之年。日本人民決心打掉這個加在他們身上的美國軍事枷鎖。沖繩的鬥爭，也是這個鬥爭的一部分。在日本，今年人民鬥爭肯定會有發展。意大利、和西班牙、北美也將是這樣。

羊未

44. 2. 8 香港來信 225 号  
別添

69. 2. 5  

**沖繩人民反美示威**

沖繩人民昨天在東京，舉行了反美示威，要求美軍立即把B-152巨彈轟炸機從這個島最大的美軍基地撤走，憤怒的示威學生並且佔領了基地。

誰都知道，為了加緊對越作戰，美國把它原來駐在關島的一部份B-152巨彈轟炸機移駐沖繩，把沖繩變成美國在亞洲進行軍事侵略的主要基地。這不僅威脅亞洲的和平，而且危及日本的安全。

為了支持沖繩島人民這一行動，東京的工人和學生曾在前天在美國大使館外舉行示威，一部份學生並英勇地衝進了美國大使館，在屋頂上高懸着紅旗，掛起了「打倒美帝國主義」

和「粉碎日美安全條約」等標語。大家應看到，不管日本在應反動政府如何殘酷地鎮壓，也不管日本修正主義集團如何無恥地欺騙，日本的革命工人和愛國學生反美的情緒更激烈，鬥爭的意志更高昂！

日本革命人民為什麼能堅持鬥爭，並且不斷取得勝利？最顯明的是他們高舉毛澤東思想的紅旗。

最近以來，我們從西方通訊社的報道中，經常看到這樣一個事實：無論是英國的學生、意大利的工人或美國的黑人，凡是在違反鬥爭中最積極的分子，總是被稱爲「親毛澤東派」。

這絕不是偶然的。毛澤東思想已經傳播到全世界，成爲革命造反的巨大動力！

至急情報

アメリカ局長  
参事官  
北米第一課長

中野氏

香港第 397 号(報)  
昭和 44 年 3 月 15 日

公信写配付済

外務大臣殿

在 香 港  
岡田 総領事

- 要理
- 首席参事官
- 南
- 渉外調整
- 漁業
- 航空
- 科学協力
- 連絡調整
- 調査
- カナダ
- 局庶務



沖縄問題に対する国府の態度  
に關する中央集約報告(報告)  
沖縄は日本の領土であり、日本人は200万人以上を占める。  
(要旨) 国府は、沖縄を日本の領土と  
認めざるべき、現在の沖縄の地位の改善  
は、国府を加えて協議に解決すべき  
であると主張している。特に日米海軍協約の  
ハルは再締結を主張し、日本の軍需の  
米等の輸入地、軍事基地のありと

を希望している。

(本文) 1月13日付多田中米英紙  
新聞類は、「我々は沖縄の日本への  
返還に反対している」と題する論評  
を掲げているのを、何等即答を求  
む。要旨下記のとおり、如指添付  
の如く報告申し上げます。

記

蒋介石小朝廷は、「アジア太平洋軍事同盟」  
 が結成されることを見望し、<sup>沖縄</sup>琉球群島の  
 日本への返還に反対し、日本人民の土地の  
 上にある米軍の武力を利用しようとする  
 のである。このことは、日本民族の尊厳を  
 傷つけ、中国本土の安全を脅かし、蔣  
 小朝廷を「保護」し、米軍の日本領土占  
 拠、佐藤の米軍追従に迎合するもの  
 である。このことにより、「アジア太平洋軍事同盟」  
 は予期されるような結果が得られること  
 を望み、~~米軍~~米軍への見込みがある。

~~琉球~~と沖縄は日本の領土であり、日  
 本人民は、米軍の手から自分の領土を回  
 收<sup>する</sup>ことを求めたい。1962年5月21日  
 は、日本人民の領土回復<sup>の</sup>要求の<sup>日</sup>である。

- 
- 
- 
- 
- 
- 

「新路線」に関する声明を発表した。この  
 声明は、<sup>沖縄</sup>琉球群島は  
 日本本国の一部である」と認めざるを  
 得ないこと、<sup>沖縄</sup>琉球群  
 島の日本への返還を拒絶し、予期  
 した旧路線は占拠であり、新路線もや  
 はり占拠である。新路線の「新」は、<sup>沖</sup>琉  
<sup>球</sup>群島と異なり、<sup>琉球</sup>群島の「行政の  
 修正」を行政のことに、傲慢な強硬  
 他人の領土を手にするものとして見做  
 し、日本人民のいさよの憤怒を呼ぶ。今  
 日はこの日、2777の増徴は1962年の予  
 算に及ばない。日本人民の正しい要求は、  
 同僚<sup>の間の人々</sup>と、支那<sup>の</sup>手から自分の領土を  
 回復<sup>する</sup>ことである。

- 
- 
- 
- 
- 
-

この小冊子は 明年8月に清算されること  
になる。

○ 蔣小朝は <sup>神領</sup> 琉球は日本の領土に  
○ なることを認めない。しかし <sup>神領</sup> 琉球  
○ の「運田」は <sup>神領</sup> 琉球の領土に属する  
と主張している。

○ 蔣介石の機關紙中東日報は 蔣介石を  
いかに悪く描いている。しかし「日本の盟邦」  
○ という立場で日本の領土回復に反対  
○ するとは口に出してはいない。今  
○ までのように <sup>神領</sup> 琉球問題は日本の内  
○ 政問題と承認してはならない。「現在の <sup>神領</sup> 琉  
○ 球の地位の尊重」には反対しない。その  
○ 理由は、この問題は「米日と日本の西  
○ 南の問題ではない。また次は露米戦

中の日本と作戦し右から中国と日本との  
間の問題になる」というのである。この理  
○ 由は、今までの新政策の「新」の字に  
○ なる。このことは、日本が知照するに  
○ 手は結ばない。蔣介石は今日まで  
○ は「<sup>神領</sup> 琉球を米国の管轄に属する」と  
○ いうことを堅持しているからである。蔣  
○ 介石を堅持している理由は、「もし共  
○ 産党の侵略の脅威が <sup>神領</sup> 琉球に ~~存在する~~ 米  
○ 国は <sup>神領</sup> 琉球に巨額の軍事費を費  
○ している」というのである。蔣介石は米軍  
○ が各地に軍事侵略を及ぼすに  
○ 対して <sup>神領</sup> 琉球の地位を尊重するに  
○ 反対する。この問題は「米日と日本の西  
○ 南の問題ではない。また次は露米戦

本は存らぬといふと大言し右。  
 明年の日本<sup>日清</sup>通商条約の満期にハハハ。  
 藤は ~~通商~~ <sup>通商</sup> 条約を主張し右、日本の若  
 大政堂、全人及び之と反対しんいす。  
 藤は、国土の回復を主張すの日本の国民  
 を共済堂の<sup>中商</sup> 手先の<sup>中商</sup> 手先に見せし。「日本  
 に日本通商条約及び<sup>神領</sup> ~~神領~~ の米軍常駐地を  
 取消すやうに迫り、日本の若済堂の買  
 し右陰謀にあらうと言ふハハハ。藤は奴  
 僕に於て之とせんと、日本人及び奴僕  
 に於り、日本の土地が若く米常の軍常占  
 領下におかす、米常の總領地、軍常駐  
 地とせんとを希望しんいす。右ういう  
 こころ根は藤は存らぬといふ。

別紙添付

アメリカ局長

参事官

北米才一課長

標記長

香港第 853 号 (報)

昭和44年6月4日

外務大臣殿

在 香 港  
園田総領事

本信は大臣訪米予行に付

要処理

南

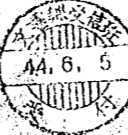
海外

社務

調査

力子夕

局庶務



韓知外務大臣の訪米に関する新聞論評(報告)

(要旨) (1) 中米系紙、韓知外相の神邊色墨米満の  
 ための訪米を採し、神邊色墨を要求し、日本人民  
 の反米主義を起し、この中、この米満の米、日米間の  
 反米主義の欺るる計略とす、兩者は果際とす、  
 し、このことは、米国の神邊色墨と、兩者の教、  
 奉的宗教人々のこと、日本人民を看破し、  
 2. (2) 右系紙、韓知外相の訪米は、神邊色墨と

GA4

外務省



いよいよ、神領は中国の版図に日本は侵略したといふ  
 あり、戦後米国の信託統治下に在るべき神領は今日日  
 本に引渡さるべきといふは、神領の米軍基地は了了して  
 神領の治身に在るべきといふは、日本返還後、米國は引  
 續て之を自由運用し、後小島の行政を兼轄すべきといふ  
 二、國府は神領問題に關し米日間の調和引合を認  
 めざるは在り。

(東京) 6月2日付毎日紙を離稿(中米系)  
 及び毎日新聞(右翼)は、右紙に關し、要旨下  
 記のとおり論駁せしむるの事、多分所見と以  
 ち、却て神領は、御報告申上げの事。

等

1. 論評

(1) 本離稿 時事新報の一部

論知外相の訪米名刺に關し、等行

場外は、強烈な予見を暴露した。外相は  
 「神領の日本返還問題は、米日間の交渉」の如きと訪  
 米名刺と~~は~~いふは、どうして神領の返還を要  
 求し、いふ日本人及び、外相の訪米「交渉」に  
 反對するのいふらうか。問題は、米國、日本  
 間の「神領返還交渉」が、米國、日本の反動派の  
 人を欺く欺略と見なせしむるに在り。米  
 國がどうしてしむるの事、いふかりの意思、實際  
 の継続と認めたり。然るにどうしてしむるの  
 事、いふかりの回収、實際の露身とあり、な  
 らば、いふかりの意図を打つてしむるの事、日  
 本人を欺く、日本人の反米感情を緩和  
 する如きあり、いふかり、なれば、この欺きの欺略  
 を通じ、米國の強さを強め、欺くは、米國  
 的の強さを「いふかり」しむるの事、いふ。

し、おのれの欺きの計略と陰謀は、おのれの日本  
 人民に看破されしものなり。  
 又、日本、米國、日本の反動派は、最近の調  
 整と縮小、という欺きの計略を打つた。これは  
 米國の不義的の態度を日本軍に借用せよとい  
 うもの比較的の態度を最近に日本軍下の米國  
 (借用)とし、最近の態度を最近に米軍に押し込  
 むといふものなり。米國借用、という<sup>最近</sup>は、實際は  
 米軍が借用し、最近の維持、修理費は日本人  
 民に負担せよといふものなり。當時日本  
 人民は、米國のこの欺きの計略を看破し、こ  
 のを拒絶ししものなり。現在、米國、日本の  
 反動派は、上述したと云ふと類似の本質なり  
 也。日本人民の神羅即然態度の要求を縮小  
 せよといふものなり。~~米國~~の欺きの計略は、

(2) 星島日報社説

愛知外相の訪米は、神羅(為管治、原本  
 は「琉球」と呼ばれり)の早期返還に關し、具体  
 的の交渉の材料を伴へり。11月と予定せられた  
 藤田外相の訪米の際に最終的の協定を實現  
 せしむるに在りといふ希望は、そのものなり。

神羅の日本「返還」といふは、根本的に  
 あり、歴史的の錯誤の<sup>累積</sup>の結果にそのものなり。  
 神羅は、漢族の日本と異なる古い國なり。清  
 代末年の500年間は、中國の附屬にあり、中  
 國文化が滲透ししなり。清代末と清朝は蒙  
 神羅を保護せよといふことあり。日本の神羅侵略  
 は、そのことあり。日本の海外侵略は、神羅から  
 始りしなり。當時神羅人が他と維持を希  
 望し、清國は、そのの台湾、韓國と同様に

77. 1911. 大正2年大戦中の重要国は、神羅の江  
 を名に、カハコ、ボツラ、和合言義は、日清戦争後  
 日本が侵略した領土の奪回を津島にのりかた  
 大正9年迄は神羅と津島を和合<sup>和合</sup>のりかた。このよう  
 な相対的な戦後の神羅<sup>神羅</sup>と津島を和合<sup>和合</sup>のりかた。  
 ボツラの宣言の日本領土に開くべき根拠は、<sup>カハコ</sup>  
 神羅は、日本の戦後の領土に開くべき根拠は、<sup>カハコ</sup>  
 フシ江の象徴は、神羅と米国の信託統治に開く  
 べき。これは合理的措置に開くべき。しかし、米国の  
 神羅の善地の維持と津島を和合<sup>和合</sup>のりかた。国連憲章  
 の信託統治に開くべき根拠。日本は、自治のりかた  
 領土への発展の増進という目標を完全に軽視し  
 ている。カハコ、日本人及び神羅の親日人、在日  
 領土は、神羅の日本「善意」を要求し、米国の領  
 土神羅の善地の増進に努力を加えるべき

神羅と日本の「善意」を要求し、  
 「善意」を「全面回復」へ発展する日は当然  
 のことである。今日と開くべき。神羅と日本に引  
 渡すことは不可避的なことである。しかし、  
 日本人の心の中の神羅情は、日本の対外侵略の  
 結果に開くべきという<sup>善意</sup>と<sup>善意</sup>を和合<sup>和合</sup>のりかた。日本人は警戒心を  
 高く保つべき。  
 神羅の根拠は、米国の領土に開くべき。米  
 国の領土神羅を和合<sup>和合</sup>のりかた。米国の領土に開く  
 べきという<sup>善意</sup>と<sup>善意</sup>を和合<sup>和合</sup>のりかた。これは、  
 情に、神羅の「善意」を和合<sup>和合</sup>のりかた。このよう  
 にと中共は、百余年米と米判口を和合<sup>和合</sup>のりかた  
 領土に開く<sup>善意</sup>を和合<sup>和合</sup>のりかた。中国の  
 神羅の善地の増進に開くべき。米国の領土に開く  
 べき。神羅の即時日本返還を要求する。しかし、米





本國の各報に格別敬重の意を込めて加へるべきこと  
 の上、本國は引續き格別の注意を發揮  
 すべきこと、予て予て各報の要領を注意し、  
 之の好むべき内容を充分に發揮し、之の好むべき  
 内容を注意し、國情は、神領問題の解決に  
 関する、予て予て各報の要領を注意し、  
 本國、日本間の潛取引を注意すべきこと、

又、各報の見

(1) 中央日報の神領問題の論議は、本國  
 各報の神領問題の論議に反して、  
 神領問題の解決に必要なる資料を、  
 一貫して提供して居る。今回の外務省の  
 要領に、格別注意を要するところ、

のいふ通り、如蒙味を感ずるべきこと、  
 (2) 右翼紙豊島日報の論議は、豊  
 島日報は、神領問題の解決に、4月10  
 日、本報論議と同様の趣旨の論議  
 (4月12日付特号第5号第6号の「神領問題」を  
 行なふこと、殊に本報論議が、4月11日神領  
 の趣意に、本報の要領を注意し、  
 本報は、本報の反米論を、中国人の間  
 には、本報の反米論を、本報の反米論を、

別紙添付